

# としよだより

こんにちは！<sup>つゆい</sup>いよいよ梅雨入りですね。<sup>あめ ひ おお</sup>雨の日が多くなりジメジメしがちだけど、<sup>こころ</sup>心はカラッと  
<sup>へや</sup>お部屋でも<sup>げんき</sup>元気に<sup>す</sup>過ごしましょう。<sup>そと い とき</sup>外に行けない時には<sup>どくしょ</sup>読書が<sup>いちばん</sup>一番！<sup>ことし</sup>ということで今年の  
<sup>としよ</sup>かだい<sup>しょうかい</sup>図書<sup>わたし</sup>をご紹介します。<sup>さき</sup>私も<sup>よ</sup>お先に<sup>かんが</sup>読ませていただきましたが、<sup>かんが</sup>考えさせられたり、  
うれしくなったり、<sup>おすし</sup>おすしが<sup>たべ</sup>食べ<sup>たくな</sup>たくなったりしました。

<sup>としよ</sup>かだい<sup>あたら</sup>図書の<sup>ほん</sup>ほかに、<sup>ほん</sup>たくさんの<sup>とど</sup>新しい<sup>とど</sup>本が<sup>とど</sup>つぎつぎに届いています。  
<sup>ほん</sup>本は<sup>し</sup>知らない<sup>せかい</sup>世界や<sup>あたら</sup>新しい<sup>おし</sup>ことを<sup>つ</sup>教えてくれたり、<sup>つ</sup>連れて<sup>つ</sup>いって<sup>つ</sup>くれたりします。  
<sup>よ</sup>いろいろ<sup>よ</sup>読んで、<sup>よ</sup>あなただけの「<sup>よ</sup>すきな<sup>よ</sup>こと」さがしてみてくださいね。



## 『つくしちゃんとおねえちゃん』

いとうみく/作 丹地陽子/絵 福音館書店



<sup>いもうと</sup>のんびりマイペースな妹・  
つくしと、<sup>えいとう</sup>優等生でがんばり  
<sup>や</sup>屋のおねえちゃん・かえで、  
<sup>たす</sup>ケンカして、助けあって、  
<sup>たが おも きも</sup>お互いを思う気持ちが

<sup>しまい</sup>あふれだす、<sup>はなし</sup>姉妹の5つのお話。

## 『ばあばにえがおをとどけてあげる』

コーリン・アーヴェリス/ぶんいざべル・フォラス/え 評論社



<sup>げんき</sup>ばあばは<sup>げんき</sup>このごろ元気が  
<sup>や</sup>ない。ケーキも焼かないし、  
<sup>へや</sup>お部屋もほこりだらけで、  
<sup>わら</sup>笑わなくなった。ファーンは  
<sup>で</sup>「よろこび」をさがしに出かけ…

<sup>いみ おし</sup>「よろこび」の意味を<sup>ものがたり</sup>教えてくれるあたたかな物語。

## 『すろがくでせかいをみるの』

ミゲル・タンコ/作 福本友美子/絵 ほるぷ出版



<sup>かぞく</sup>うちの家族には、<sup>かぞく</sup>みんなそれぞれ<sup>かぞく</sup>すきな<sup>かぞく</sup>ことがある。  
<sup>かぞく</sup>すきな<sup>かぞく</sup>ことがあるっていいな。  
<sup>かぞく</sup>わたしの<sup>かぞく</sup>すきな<sup>かぞく</sup>ことは…。  
<sup>すろがく</sup>すろがく <sup>だいす</sup>だいす <sup>しゅじんこう</sup>しゅじんこう  
数学が大好きな主人公の、  
<sup>かぞく</sup>「すき」の<sup>かぞく</sup>きもちが<sup>かぞく</sup>あふれる

<sup>えほん</sup>絵本。本に出てる<sup>えほん</sup>形や<sup>えほん</sup>数も<sup>えほん</sup>探してみましよう。

## 『おすしやさんにいらっしやい』

おかだだいすけ/作 遠藤宏/写真 岩崎書店



<sup>うみ</sup>海で<sup>うみ</sup>生きて<sup>うみ</sup>いる<sup>うみ</sup>ところを<sup>うみ</sup>釣り<sup>うみ</sup>上げ<sup>うみ</sup>られた、<sup>うみ</sup>キンメダイ、  
<sup>うみ</sup>アナゴ、<sup>うみ</sup>イカ。<sup>うみ</sup>どんな<sup>うみ</sup>魚<sup>うみ</sup>なの<sup>うみ</sup>かな。<sup>うみ</sup>観<sup>うみ</sup>察<sup>うみ</sup>して<sup>うみ</sup>み<sup>うみ</sup>よう。  
<sup>うみ</sup>次<sup>うみ</sup>は、<sup>うみ</sup>魚<sup>うみ</sup>を<sup>うみ</sup>さ<sup>うみ</sup>ば<sup>うみ</sup>く<sup>うみ</sup>よ…  
<sup>うみ</sup>海<sup>うみ</sup>で<sup>うみ</sup>生<sup>うみ</sup>きて<sup>うみ</sup>いた<sup>うみ</sup>魚<sup>うみ</sup>が  
<sup>うみ</sup>お<sup>うみ</sup>す<sup>うみ</sup>し<sup>うみ</sup>に<sup>うみ</sup>な<sup>うみ</sup>る<sup>うみ</sup>ま<sup>うみ</sup>で<sup>うみ</sup>を  
<sup>うみ</sup>写<sup>うみ</sup>真<sup>うみ</sup>で<sup>うみ</sup>紹<sup>うみ</sup>介<sup>うみ</sup>し、<sup>うみ</sup>命<sup>うみ</sup>を<sup>うみ</sup>い<sup>うみ</sup>た<sup>うみ</sup>だ<sup>うみ</sup>い<sup>うみ</sup>て<sup>うみ</sup>生<sup>うみ</sup>き<sup>うみ</sup>て<sup>うみ</sup>い<sup>うみ</sup>る<sup>うみ</sup>こ<sup>うみ</sup>と<sup>うみ</sup>を…



こんにちは！梅雨入りがまじかになってきましたね。天気が悪いと心もジメジメしがちですが心は明るくカラッといきたいですね。読書には人を元気にする力があります。今まで経験したことのない世界に連れていってくれたり、教えてくれたりします。大昔の時代や未来…どこでも自由自在です。ホント、外に遊びに行けない時は読書が一番です。そこで、今年のかだい図書をご紹介します。私も一足先に読ませていただきました。特に「みんなのためいき図鑑」面白かったよ～読んで感想聞かせてね!(^^)!



司書 中田

## 『みんなのためいき図鑑』

村上しいこ/作 中田いくみ/絵 童心社



授業参観に向けて  
「ためいき図鑑」を作ること  
になった、たのちんの班。  
保健室登校の加世堂さん  
もいっしょに作れないかと

たのちんがある提案をしたが、ほかのメンバーともめて…

## 『チョコレートタッチ』

パトリック・S・キャトリング/作 佐藤淑子・訳 文研



ジョンはお菓子が大好きな男の子。  
なかでもチョコレートには  
め目がありません。ある日  
拾った古い魔法のコインで  
チョコレートを買って食べてから  
口に触れたものがすべてチョコレートになってしまい…

## 『111本の木』

ルナ・シン/作 マリアヌ・フェラー/絵 光村教育



大理石工場のせいで  
荒れ地になった、インドの  
小さな村の村長さん。  
上の娘を病気で亡くした  
村長さんは、村で女の子が

生まれるたびに木を植えようと思ひ立ちます。しかし…

## 『この世界からサイがいなくなってしまう』

当原 珠樹/作 酒井以/絵 ポプラ社



あと20年たつと、アフリカから  
サイがいなくなってしまうかも  
しれない。角をねらった密猟に  
よって、サイの数が減っている  
せいだ。サイを守ろうとする人  
たちと密猟者の知られざる戦い。どうなるのか…



こんにちは！ 相東小の周りのアジサイの花も色づいてきましたね。梅雨入りもまじかになり、雨で外に

行けない日が増えてきますね。そんなときは読書が一番！でも、何をを読んだらいい…迷いますね。

というわけで、課題図書を読んでもみるのはいかがかと思いで紹介いたします。課題図書というと

真面目でお堅い本かなあと思いがちですが、そんなことはありません。私も一足早く読ませて

いただきましたが、本の主人公と同じ気持ちになって、ドキドキしたりハラハラしたり、笑ったり

考えさせられたりしました。あなたはどんなことを感じるかな？感想教えてくださいね。 司書 中田



## 『りんごの木を植えて』

大谷美和子/作 白石ゆか/絵 ポプラ社

「たとえあした、世界が滅亡

しようとも、きょうわたしは

りんごの木を植える。」この

ことばを覚えてくれた大好きな

おじいちゃんに、がんの再発が。

おじいちゃんは積極的な治療はしないと…。



## 『風の神送れよ』

熊谷千世子/作 くまおり純/絵 小峰書店

コロナのばかやろう。早く消えて

なくなっちゃえ！疫病退散の

気持ちをこめて、ぼくらは

「コトの神」を谷へ送る…さま

ざまな困難に立ち向かい、懸命

に責任を果たそうとする子どもたちの姿を描く。



## 『ぼくの弱虫をなおすには』

K. L. ゴーイング/作 久保陽子/訳 徳間書店

「こわいものをひとつずつ

克服していけば、強くなれる

はず」っていわれたけど…。

1976年、アメリカを舞台に、

偏見や人種差別の問題に



## 『捨てないパン屋の挑戦 しあわせのレシピ』

井出留美/著 あかね書房

捨てないパン屋の挑戦  
しあわせのレシピ



まきを燃やさないと作ることが

できない田村さんのパンには、

何十年も生きてきた木の「命」

も受け継がれている。大量の

パンの廃棄に悩み、「一個も

捨てない」ために奮闘するパン職人のお話。

ふれつつ、苦手を克服する子どもたちの成長を描いた物語